

【推進の方向性】 政府内に主要3分野検討会が設置されたことを機に、県としても体制整備を進めながら、地元広域自治体としてイノベーション・コースト構想の具体化の動きを加速させる。

## 国の体制

### イノベーション・コースト構想推進会議

【委員】 関係省庁、県、市町村、有識者等  
【会議】 福島県内で開催し、個別検討会の状況等、構想の進捗に係る情報共有



### 個別検討会

【委員】 関係省庁、有識者、県(部長)等  
【会議】 東京都内で開催し、3つのプロジェクトに関するテクニカルな課題を整理

ロボット研究・  
実証拠点整備等  
に関する検討会  
(H26.11.6設置)

国際産学連携  
拠点に関する  
検討会  
(H26.11.6設置)

スマート・  
エコパークに  
関する検討会  
(H26.11.12設置)

提案  
・  
要望

## 県の体制

### 新生ふくしま復興推進本部会議

【本部長】 知事  
【本部員】 副知事、関係部局長

福島・国際研究産業都市構想にかかる  
庁内プロジェクトチーム(H26.2.4設置)

新設

### 県・市町村検討会議

【座長】 企画調整部長  
【構成】 県：関係次長・課長、市町村：担当課長  
※オブザーバー  
ACF(福島大、会津大)、関係省庁  
【会議】 情報交換、意見集約、個別検討会で取り  
上げられていないテーマの検討

構想関連個別検討体制～各部局～ (検討)  
《農林水産分野、エネルギー関連産業分野等》

### 《イノベーション・コースト構想の経緯》

- H26年 1月21日 福島・国際産業都市構想研究会発足 (座長：赤羽経済産業副大臣 福島県からは内堀副知事が参加)
- H26年 6月23日 第7回研究会において、最終報告の決定
- H26年 6月24日 経済財政運営と改革の基本方針について(骨太の方針2014)への位置づけ
- H26年 8月 9日 福島復興再生協議会において知事から復興大臣に要望
- H26年 8月31日 平成27年度概算要求において総額200億円が盛り込まれる
- H26年11月 6日～ 3つの個別検討会の設置・検討開始 (ロボットテストフィールド、国際産学連携拠点、スマート・エコパーク)